

東京都COVID-19感染症透析医療入院病床アンケート(4月10日時点)

東京都区部災害時透析医療ネットワーク 代表

酒井 謙
菊地 勘

三多摩腎疾患治療医会

理事長

要 伸也

災害対策委員長

尾田高志

東京都透析医会

会長

安藤亮一

災害対策委員長

花房規男

①現時点COVID-19入院受け入れ可能は、89施設中 28施設(31.5%)
稼働可能病床:のべ26床

②東京都からの要請があれば、現時点で受け入れ不可能施設の33%の19施設が入院受け入れ可能と表明
稼働可能病床:のべ32床(中等～重症)

* ①+②=57床が、最終的に東京都の潜在的な入院可能病床数と推測される。

③区部外来受け入れ可能は、82施設中 32施設 (37%)
稼働可能透析ベッド:のべ33床 (1施設1床の割合)

* 自施設・関連施設の患者発生は自施設で対応可能、外部からの受け入れが可能は、入院施設で15%、外来施設で1%にとどまる。